

# 2024 はこだて科学寺子屋 集中講座

## ●対象

集中科目履修希望の学生  
(キャンパス・コンソーシアム函館加盟校および提携校)

## ●定員

公立はこだて未来大学 所属学生:20名  
キャンパス・コンソーシアム函館加盟校および提携校:10名

## ●キャンパス・コンソーシアム函館

学生向け単位互換制度対象科目  
「科学技術コミュニケーション入門」2単位

## ●大学コンソーシアム大阪、

教育ネットワーク中国、  
ふじのくに地域・大学コンソーシアム、  
広域単位互換制度対象科目  
「科学技術コミュニケーション入門」2単位

※単位認定には  
3日間の受講が必要です。

参加費無料

要・事前申込

## ●テーマ

### 科学技術コミュニケーション入門

『ジブンで考え確かめる』  
サイエンスコミュニケーション活動の実践

## ●日時

8/3(土) 10:00~17:00(シエスタハコダテ 4F : G スクエア イベントスペース)

8/5(月) 10:00~17:00(シエスタハコダテ 3F : Open MUJI)

8/6(火) 10:00~17:00(シエスタハコダテ 3F : Open MUJI)

※すべての日程を対面形式で開講します。

## ●問い合わせ・申し込み

履修希望の方は、所属校に問い合わせのうえ、参加申し込みを行ってください。

はこだて科学寺子屋は、2009年に「はこだて国際科学祭」を始めとする、科学技術コミュニケーション活動の担い手を函館の地で生み育てることを目的に開始されました。この取り組みも今年度で16年目を迎えます。「はこだて国際科学祭」は、開始当初より「市民がつくる市民のための科学祭」の理念を掲げ、はこだて科学寺子屋の参加者有志の手によって、科学ボランティア組織「科学楽しみ隊」が発足し、継続的な活動が行われています。私たちの生活は、科学技術の進歩にとともに、大きく変化してきました。今後、科学技術の進歩は、私たちの生活を、さらに大きく変化させることが予想されます。それに際して、科学技術の専門家と、私たち一般市民との対話は、双方に新たな気づきをもたらす機会となります。今後、科学技術コミュニケーション活動は、ますます注目されることでしょう。

2024年度のはこだて科学寺子屋では、科学楽しみ隊の主要メンバー

であり、函館圏を中心に活躍されている工藤世一さんを講師にお迎えして、公開講演会を開催します。工藤さんは、海洋リテラシー教育、また、環境教育プログラムに関して、豊富な実践経験をお持ちです。特に、科学技術コミュニケーション活動における「コミュニケーション」の重要性について、具体的な取り組みに基づくお話を伺います。

また、はこだて科学寺子屋は、公立はこだて未来大学における集中科目としても開講されています。本科目は、全国に存在する大学コンソーシアム活動と協働し、多様な背景を持つ大学生が受講することができます。今年度のはこだて国際科学祭のテーマ「環境」に合わせて、小型マイコンで自作した二酸化炭素濃度計を片手に、実際に函館市内を探索する活動を行います。なお、はこだて科学寺子屋の活動内容、また、調査結果については、8月17日(土)に、はこだて国際科学祭プログラム《科学屋台》として出展し、報告します。

# 2024 はこだて科学寺子屋「公開講演会」

## 共有して伝える サイエンスコミュニケーション

8/3 土 13:00~14:30(12:30 受付開始)

●会場：シエスタハコダテ 4F：G スクエア イベントスペース

●対象：どなたでも

●主催：サイエンス・サポート函館

●受講料：無料

●要・事前申込：公開講演会の聴講を希望される方は、メールにてお申し込みください。

[info@sciencefestival.jp](mailto:info@sciencefestival.jp)

当日、席に余裕がある場合は、その場でご参加いただけます。



●司会 **辻 義人**(つじ よしひと)

公立はこだて未来大学  
メタ学習センター 准教授

旭川出身。専門分野は、教育心理学・教育学です。なかでも、「わかりやすく伝えること」に興味があります。特に、対面で説明するとき、どのように伝える内容を選び、表現を変えて説明するとよいのかに注目しています。趣味は、はこだて未来大に赴任してからはじめた電子工作です。学生と一緒に、試行錯誤しながら学んでいます。もちろん失敗することもあります。それも含めて電子工作の楽しさです。



●講師 **工藤 世一**(くどう よいち)

水産・海洋コーディネーター  
サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊

「海洋リテラシー育成・環境教育プログラム」のMARE・プロジェクト WILD リーダーなどの資格を活かして、函館の海や当別風の丘などのフィールドで「コミュニケーションへのこだわり」を持ち地域連携に携わっている、熱き海の男。

Keep Going Forward (限られた時間) を大切に「動かなければ 出会わない 語らなければ 広まらない 聞かなければ 深まらない」をモットーに活動しています。趣味はセーリングで、今年の青函ヨットレースにもエントリーしています。

はこだて科学寺子屋では、例年、はこだて国際科学祭で活躍されている方をお招きし、公開講演会を開催しています。この講演会は、一般市民の方や学生、また、専門家の方など、多様な方々にご参加いただき、興味深い議論が行われています。

今年度は、函館圏をはじめ、多様なフィールドでご活躍されている工藤世一さんに、ご講演いただきます。海洋リテラシー教育、また、環境教育プログラムに関する実践事例について、目的や活動実践の事例を伺います。また、その際に工夫している点や、印象的なエピソードなどをお聞きます。これにより、科学技術コミュニケーション活動を企画、実施されている方の視点について、考えるきっかけとなることが期待されます。